

6. 高齢期（65歳以上）

目標：歯の喪失を防止し、口の中を清潔にして、口から食べて活力維持

(1) 推進方策・事業展開

だ液の減少、歯の喪失などにより、誤嚥・窒息を起こしやすくなる時期。

口腔機能を維持・向上し、いつまでも口から食べて活力ある生活を送ることができるように、介護予防の「口腔機能の向上」プログラムの普及や、誤嚥性肺炎の予防の啓発に取り組めます。地域拠点型一般介護予防事業では、歯科衛生士による介護予防講座を行い、口腔ケアの知識向上を図ります。

(2) 平成28年度の実績

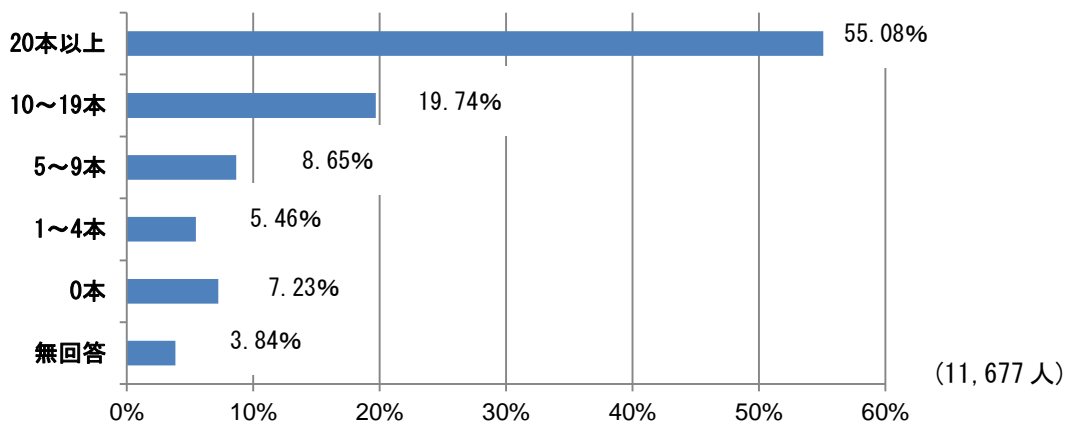
①口腔機能の向上プログラムなど

介護予防型デイサービスの「口腔機能の向上プログラム」では、2か月に1回、歯科衛生士が対象者に、口の体操プログラムなどを実施しました。

「脳いきいき教室（認知症予防教室）」では全6回のうち3回目に歯科衛生士が出向き、口腔ケアの講話を行い、健口体操や唾液腺マッサージを実践しました。

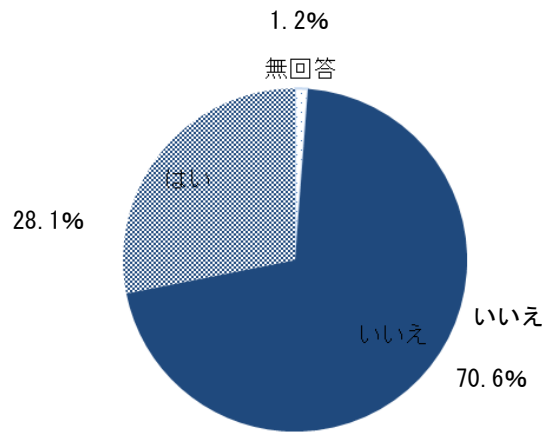
また、「元気！いきいき！！教室」では全12回のうち、3回目と8回目に歯科衛生士が出向き、口腔機能の向上の講話を実施しました。参加者からは、口腔ケアを意識するようになり、改善したとの声を聞いています。

残っている歯の本数



平成28年度 高齢者一般調査（中間報告）

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



平成 28 年度 高齢者一般調査（中間報告）

②後期高齢者（75 歳） 歯科健康診査の実施

歯や歯肉の状態や口腔清掃状態等をチェックし、歯と口の健康を保つことにより全身の健康づくりを目指して、後期高齢者医療制度被保険者の内、75 歳の方を対象に口腔機能低下の予防と肺炎等の疾病予防を目的とした健診を実施しました。

平成 28 年度の受診者数 1,203 人 / 16,609 人（7.2%）

（平成 28 年度の受診期間は平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）

③広報啓発

◆しあわせの村だより 1 月 2 月号に受診勧奨の再度、同様の記事を掲載しました

あなたは対象者ではありませんか？後期高齢者(75歳)歯科健康診査

後期高齢者(75歳)歯科健康診査無料クーポン券の有効期限【平成29年2月28日まで】が迫っています。対象 (11,677 人) 月末に歯科健康診査の無料クーポン券をお送りしています。お早目に電話予約の上、歯科健診を受けましょう。

受診期間 平成28年9月1日(木)～平成29年2月28日(火) **受診場所** 神戸市後期高齢者(75歳)歯科健康診査実施医療機関

対象 後期高齢者医療制度の被保険者で昭和15年4月1日～昭和16年3月31日生まれの方

問合せ：神戸市けんしん案内センター（兵庫県予防医学協会内） ☎078-262-1163 FAX078-262-1165

◆広報紙 KOBE 1 月号に健診受診勧奨広告を掲載しました

あなたは対象者？

神戸市からの無料の歯科健診のご案内です！

かかりつけ歯科医をもち、定期的な歯科健診を受けていくことは、歯と口の健康を守る近道です。お口のホームドクターを待ちましょう！

歯科健診をしっかり受けて、歯も体も健康でいましょう。

早めの健診をおすすめします。

成人の8割が歯周病です。

神戸市けんしん案内センター（兵庫県予防医学協会内）
お問合せ先 ☎078-262-1163 保健福祉局健康増進課づくり文書課 神戸市 歯科健診

75歳 後期高齢者 歯科健康診査 の対象の方	平成29年2月28日(火)までが有効期限です!!! 対象の方(昭和15年4月1日～昭和16年3月31日生まれの 後期高齢者医療制度(入籍)には、平成28年8月末にクーポン券をお送りしています。
50歳 歯周疾患検診 の対象の方	平成29年3月31日(金)までが有効期限です!!! 対象の方(昭和40年4月2日～昭和41年4月1日生まれ)には、 平成28年8月末にクーポン券をお送りしています。
40歳 歯周疾患検診 の対象の方	40歳の誕生日の月末までが有効期限です!!! 対象の方(昭和15年4月1日～昭和52年3月31日生まれ)には、満40歳の 誕生日を迎える前月末に40歳総合健診として受診券をお送りしています。

広報紙 KOBE 1 月号

④フレイルチェックの実施 **新規**

加齢による心身の活力の低下で介護に移行しやすい状態を早期に発見し、生活習慣を見直す機会を提供するフレイルチェックでは、心身の機能低下だけでなく、「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。」などの質問や咀嚼、嚥下などの口腔機能も確認できる内容としています。28年度は、本格実施に向けた試行として、こうべ福祉・健康フェア、集団健診会場、薬局で、合計 162 人に実施をしました。

3)平成 29 年度の取り組み

①総合事業への取り組み **新規**

平成 29 年度より、地域拠点型一般介護予防事業では、専門職による介護予防講座において、口腔機能向上の重要性に関する啓発を行います。また、短期集中通所サービスでは、口腔体操や口腔機能の向上のプログラムや講話を実施して、口腔機能の向上を図ります。

高齢化がいつそうすすむなか、高齢者の方々が元気な生活を長く送っていただくためにも、口腔機能の向上をきっかけに日常生活の活動を高め、社会参加をしていただくことで、高齢者一人ひとりが、生きがいや役割をもって生活していけるような場や機会を提供していきます。

②後期高齢者（75 歳）歯科健康診査の実施

後期高齢者（75 歳）歯科健康診査の受診期間を延長しました。

（平成 29 年 5 月末から平成 30 年 3 月 31 日まで）

③広報啓発

しあわせの村だより 4 月 5 月号に後期高齢者（75 歳）歯科健康診査の案内記事を掲載しました。

④フレイルチェックの実施

65 歳の市民を対象に、市民健診会場、フレイルチェック実施機関（薬局）でフレイルチェックを実施します。

神戸市後期高齢者(75歳) 歯科健康診査のご案内

後期高齢者医療制度の被保険者で平成28年度中に75歳になられた方を対象とした歯科健診が始まります(対象者には無料クーポン券を郵送します)。地域の歯科医院(実施医療機関へ事前予約)で受けることができます。

日時 平成29年5月下旬(無料クーポン券が手元に届いた日から)～平成30年3月31日

場所 神戸市後期高齢者(75歳)歯科健康診査の実施医療機関

対象 後期高齢者医療制度の被保険者で昭和16年4月1日から昭和17年3月31日生まれの方

問合せ先 神戸市けんしん案内センター
☎ 078-262-1163

しあわせの村だより

分野別にみた施策の展開

1. 障害者への歯科保健医療対策

(1) 推進方策・事業展開

障害の種類や程度によっては、自分で口腔ケアを行うことが困難な場合や、口の機能に支障がある場合があり、障害者の特性を理解した歯科専門職が対応する必要があります。

「神戸市立こうべ市歯科センター」では、地域の歯科診療所での治療が困難な人を対象に、日帰り全身麻酔や静脈内鎮静法などの専門的な医療に対応しています。

(2) 平成 28 年度の実績

障害者、高齢者など一般歯科診療所において、診療が困難な人への歯科治療などを行うため、地域の歯科診療所や神戸市立医療センター西市民病院と連携し、安心・安全に配慮しながら、「市立こうべ市歯科センター」を運営するとともに、障害者施設への訪問歯科保健指導や訪問歯科健康診査、障害者歯科に関する歯科医療研修会を開催しました。

平成 28 年度 こうべ市歯科センター受診者数

	心身 障害者	有病者※	非協力 小児	歯科診療 恐怖症	重度嘔吐 反射	その他	合計
受診者(人)	4,847	305	316	89	98	131	5,786
構成比(%)	83.8	5.3	5.5	1.5	1.7	2.3	100.0

* 歯科以外の他科の疾患を併せ持つ人 こうべ市歯科センター調べ

- ・ 障害者施設への訪問歯科保健指導の実績 6 施設 10 回 96 人参加
- ・ 障害者施設への訪問歯科健康診査の実績 6 施設 6 回 207 人参加
- ・ 障害者歯科医療研修会の実績（年 1 回実施） 134 人参加

(3) 平成 29 年度の取り組み

引き続き、「市立こうべ市歯科センター」を運営するとともに、障害者施設への歯科保健指導や歯科健康診査および障害者歯科に関する歯科医療研修会を開催するなど、今後も継続して、障害者の歯科保健医療対策を充実させていきます。

2. 介護が必要な高齢者への対策

(1) 推進方策・事業展開

誤嚥性肺炎の予防のため、口腔ケアが重要です。しかし、在宅要介護者の約 6 割が口の機能に問題があり、施設での口腔機能管理の取り組みは約 4 割という状況です。

地域包括ケアシステムのなかで、住み慣れた地域で、口の機能を維持し続けられるよう、切れ目のない歯科医療・口腔ケアの支援体制の構築に取り組んでいきます。

(2) 平成 28 年度の実績

①口腔ケア研修会の開催支援

医療・保健・介護関係団体で組織される神戸市介護サービス協会が実施する介護関係者を対象とした口腔ケアに関する研修会の開催を支援しました。

②地域ケア会議及び地域包括ケア推進会議部会による相互連携体制の構築

あんしんすこやかセンターを主体として実施する地域ケア会議を開催（平成 28 年度：254 回、うち歯科医師会参加：87 回）し、区を主体として実施する地域ケア会議を開催（平成 28 年度：8 区。8 区ともに歯科医師会参加）し、地域において歯科医師を含めた多職種のネットワークを構築しました。また、医療・介護関係者や行政で構成する「地域包括ケア推進会議部会」を開催しました（平成 28 年度：1 回）。

③在宅・施設での口腔ケアに関する介護保険利用実績（平成 28 年度平均）

介護保険制度を利用して、在宅・施設において歯科医師や歯科衛生士による口腔ケア（居宅療養管理指導）を受けている人は 2,212 人（要介護認定者 50,318 人（平成 28 年 9 月末現在）の 4.4%）です。また、市内の歯科診療所で介護保険による訪問歯科診療を実施しているのは 12.7%（121/952（平成 29 年 3 月末現在））です。

④高齢者施設での口腔機能管理の取り組みに関する介護保険利用実績（平成 28 年度平均）

歯科医師または歯科衛生士が介護職員に対して、口腔ケアにかかる技術的助言・指導を月 1 回以上行っている高齢者施設は、177 か所のうち 70.6%（125 か所）。また、歯科医師等による個別の口腔機能維持管理指導を受けている人は 6.1%（601 人/9,774 人）です。

⑤地域包括ケア推進部会の開催及び医療介護サポートセンターの設置 **新規**

歯科医師も含めた医療・介護関係者で構成する「神戸圏域地域医療構想調整会議 地域包括ケア推進部会」を開催し、医療介護連携の推進等について協議しました（平成 28 年度：1 回）。

また市内 4 区 5 箇所（東灘区、中央区、北区 2 箇所、垂水区）に医療介護サポートセンターを開設し、歯科医師を含めた多職種連携会議や事例検討会を開催しました。在宅歯科診療や口腔ケアに関する相談については、市区歯科医師会として対応を行いました。

⑥訪問歯科診療・口腔ケア推進事業 **新規**

歯科医師が訪問して診療を行う「訪問口腔診療事業」を行っています。平成 28 年度からは、それに加えて、新たに「訪問口腔ケア推進事業」を開始したところであり、神戸市歯科医師会運営の「歯科保健推進室」を窓口、兵庫県歯科衛生士会と連携して、食支援を含めた口腔機能管理を実施しています。

(3) 平成 29 年度の取り組み

①口腔ケア研修会の開催支援

医療・保健・介護関係団体で組織される神戸市介護サービス協会が実施する介護関係者を対象とした口腔ケアに関する研修会の開催を支援します。

②地域ケア会議による相互連携体制の構築

あんしんすこやかセンターを主体として実施する地域ケア会議を開催することにより、歯科医師を含めた多職種ネットワークを構築していきます。

③歯科診療・口腔ケアの広報啓発

市民、事業者等に対し、歯科診療・口腔ケアの重要性を広報啓発していきます。

④地域包括ケア推進部会の開催及び医療介護サポートセンターの設置

歯科医師も含めた医療・介護関係者で構成する「神戸圏域地域医療構想調整会議 地域包括ケア推進部会」を開催し、医療介護連携を推進していきます。部会には専門部会を設置し、専門的かつ集中的な検討が必要な課題について議論していきます。

また全区に医療介護サポートセンターを設置し、歯科医師を含めた多職種連携会議や事例検討会を開催します。在宅歯科診療や口腔ケアに関する相談については、引き続き市区歯科医師会と連携して対応を行っていきます。

⑤訪問歯科診療・口腔ケア推進事業

訪問歯科診療および口腔ケア推進事業を周知していきます。

3. 救急医療対策（歯科）

（1）推進方策・事業展開

救急医療対策の一環として、神戸市歯科医師会附属歯科診療所において、休日の歯科救急医療を実施しています。休日歯科診療所については、平成26年7月に、より利便性が高く、診療に必要なスペースを十分に確保できるセンタープラザ西館へ移転するとともに、診療機能を拡充しています。

（2）平成28年度の実績

日曜日や祝日に歯や歯ぐきが痛んだり、外傷を受けて歯が折れたり抜けたりした時に、かかりつけの先生に受診できない人への応急処置を行う神戸市歯科医師会附属歯科診療所の運営支援を行いました。

所在地：中央区三宮町2-11-1 センタープラザ西館5階（平成26年7月から）

設置運営：公益社団法人 神戸市歯科医師会

診療時間：休日（日曜、祝日、振替休日、年末年始[12/29～1/3]）の10時～15時

受診者数：1,273人（一日平均 17.6人）

平成28年度休日歯科診療所診療実績 症状別（複数該当あり）

症状	かむと痛い	はれた	むし歯	詰め物、冠がはずれた 入れ歯が壊れた	歯周疾患	外傷	歯がしみる ずきずき痛い	その他	合計
人数(人)	357	300	382	233	175	122	117	70	1,756
構成比(%)	20.3	17.1	21.8	13.3	10.0	6.9	6.7	4.0	100.0

神戸市歯科医師会調べ

（3）平成29年度取り組み

今後も、歯科医師会や歯科衛生士会などの医療関係者、行政が協力して、休日歯科診療所の運営を維持していきます。（5月末現在、受診者数222人）。

4. 周術期（手術前後）などの取り組み

(1) 推進方策・事業展開

がんなどに係る全身麻酔による手術などを受ける患者に、医科からの依頼に基づいて、歯科医師が歯科衛生士とともに口腔機能を管理する取り組みです。歯科医療および専門的口腔ケアを実施することにより、術後性肺炎などの合併症を予防することが可能です。医科と歯科が必要な情報を共有するよう推進していきます。

(2) 平成 28 年度の実績

①医科歯科連携の推進

西神戸医療センターでは、西区、垂水区、須磨区歯科医師会と定期的な連携会議を開催し、周術期口腔機能管理研修を行うなど地域との連携に向けて取り組みました。また、周術期口腔機能管理に関する講演会・症例検討会も開催しました。

また、歯科医師会では会員向けの研修会を開催するとともに、医科歯科連携の更なる充実を図るため、協力歯科医院リストと「病診連携ガイドライン・プロトコル」を市内病院へ配布しました。中央区歯科医師会では、歯科のない病院への働きかけを行っています。

◆市内のがん拠点病院（国指定）での周術期口腔機能管理の実績

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
神戸大学附属病院	845 件、延べ 2,354 件	1,118 件、延べ 2,925 件	2461 件、延べ 4,174 件
中央市民病院	1,236 件、延べ 1,701 件	706 件、延べ 1,872 件	754 件、延べ 2,107 件
西神戸医療センター		230 件、延べ 401 件	254 件、延べ 528 件

②広報啓発

「神戸市がん対策推進条例」に基づき設置している「神戸市がん対策推進懇話会」において、周術期口腔機能管理の重要性について関係者への周知を図りました。

歯科医師会では周術期口腔機能管理の重要性について、ポスターを作成しており、神戸市医師会、神戸市薬剤師会へ依頼し、市内の診療所・薬局での掲示を行うことで、市民への啓発を図りました。

(3) 平成 29 年度の取り組み

①医科歯科連携の推進

「神戸市がん対策推進条例（平成 26 年 4 月）」に基づき設置した「神戸市がん対策推進懇話会」において、周術期の口腔機能管理と医療連携について関係者との共通認識を図っています。

西神戸医療センターでは、地域の 3 区歯科医師会と定期的に連携会議を行い、引き続き周術期口腔機能管理の推進について情報交換を行います。平成 28 年 10 月より、医科から地域の歯科医療機関へ直接口腔機能管理を依頼できるように、専用の診療情報提供書様式を採用しており、今年度も医科歯科連携の充実を図っていきます。

また、周術期口腔機能管理に関する講演会・症例検討会も引き続き行います。

神戸市歯科医師会では、全市の歯科のない病院のスタッフを対象に周術期口腔機能管理の重要性について、啓発・周知を行っています。

②広報啓発

周術期口腔機能管理の重要性について、出前トークなどを通じて市民へ啓発します。

5. 災害時における歯科保健医療対策

(1) 推進方策・事業展開

誤嚥性肺炎による震災関連死を防ぐため、平常時より口腔ケアに関する啓発などを行い、関係者との顔の見える関係づくりに努めます。また、災害時においては、神戸市歯科医師会との協定などに基づいて、関係機関とともに被災者の健康維持のため、応急歯科医療および口腔ケアを行います。

(2) 平成 28 年度の実績

① 広報啓発

◆ 「どすこい防サイくん」の命を守る口腔ケア

神戸市危機管理センター1階市民防災展示室において、神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科により「災害時の命を守る口腔ケア」について啓発しました(10月11日～11月30日)。

◆ さんちか花時計ギャラリー

定期的に歯ブラシなどの備蓄の必要性について啓発しました。

② 防災訓練の実施 平成 28 年 11 月 13 日(日)

全市防災訓練、中央区総合防災訓練(湊翔楠中学校)において、中央区歯科医師会が歯科救護所の設置などの実地訓練を行いました。

長田区総合防災訓練(水笠通公園)においては、在宅医療推進協議会、災害対策部会ブースに、大規模災害時に使用する歯科ポータブルユニットを設置しました。



「どすこい防サイくん」の命を守る口腔ケア展示



中央区防災訓練での歯科救護所設置

(3) 平成 29 年度の取り組み

① 広報啓発

さんちか花時計ギャラリーなどにおいて、引き続き広報啓発などに取り組みます。

計画の指標

こうべ歯と口の健康づくりプランの現状および目標値

健康こうべ2017での指標							
		神戸市		神戸市		神戸市 目標値 (H29)	
		策定時	データソース	現状値	データソース		
進行した歯周炎を有する人の割合を減らす	40歳	36.9%	H24 40歳総合健診 歯周疾患検診	40.3%	H28 40歳歯周疾患検診	33.0%	
	妊婦	38.1%	H24 妊婦歯科 健康診査	38.7%	H28 妊婦歯科健康診査	34.0%	
推移を見守る指標							
すべてのライフステージにおける指標		神戸市		神戸市		国	
		策定時	データソース	現状値	データソース	H34 目標値	
毎年定期的に歯科健診を受ける人の割合	40歳代	36.9%	H23 市民の健康 アンケート	35.7%	H28 40歳歯周疾患検診	65%	
	50歳代	37.2%	H23 市民の健康 アンケート	37.2%	H28 歯周疾患検診		
フッ化物洗口を実施する施設数		247施設 13,016人	H24 こども家庭局 教育委員会 調査	282施設 14,436人	H28 こども家庭局 教育委員会 調査	—	
咀嚼良好者（一口30回以上よくかむ）	18歳以上	22.0%	H23 市民の健康 アンケート	25.9%	H26 食育に関するア ンケート	80% (60歳代)	
たばこと歯周病の関係について知っている人の割合		28.9%	H23 市民の健康 アンケート	—	—	—	
ライフステージごとの指標		神戸市		神戸市		国	
		策定時	データソース	現状値	データソース	H34 目標値	
妊娠期	妊婦歯科健康診査の受診率	妊婦	31.2%	H24 妊婦歯科 健康診査	34.1%	H28 妊婦歯科健 康診査	—
乳幼児期	むし歯を持つ人の割合	3歳児	15.7%	H24 3歳児健康 診査	13.5%	H28 3歳児健康診 査	10%
乳幼児・青少年期	不正咬合のある者	3歳児	22.6%	H24 3歳児健康 診査	23.5%	H28 3歳児健康診 査	10%
青少年期	むし歯を持つ人の割合	6歳児	43.9%	H24 学校保健統 計	39.4%	H28 学校保健統計 (速報値)	—
		12歳児	36.8%	H24 学校保健統 計	30.0%	H28 学校保健統計 (速報値)	35%
	1人平均むし歯数	12歳児	0.83本	H24 学校保健統 計	0.62本	H28 学校保健統計 (速報値)	1本
	歯肉に異常がある人の割合	中3	19.3%	H24 学校保健統 計	19.5%	H28 学校保健統計 (速報値)	20%
高3		35.2%	H24 学校保健統 計	28.9%	H28 学校保健統計 (速報値)		
若者・壮年期	未処置を有する人	40歳	45.2%	H24 40歳総合健診 歯周疾患検診	41.9%	H28 40歳歯周疾患検診	10%
	喪失歯のない人	40歳	88.8%	H24 40歳総合健診 歯周疾患検診	—	—	75%
	24歯以上自分の歯を有する人	60歳	57.2% (55-64歳)	H23 市民1万人 アンケート	—	—	70%
高齢期	20本以上の自分の歯を有する人	80歳	37.6% (75歳以上)	H23 市民1万人 アンケート	76.4%	H28 75歳後期高齢者 歯科健診+直営	50%
定期的に歯科健診、歯科医療を受けることが困難な者における指標		神戸市		神戸市		国	
		策定時	データソース	現状値	データソース	H34 目標値	
障害者	障害者入所施設での定期的な歯科健診実施率	66.7%	H23 県の調査	—	—	90%	
要介護高齢者	高齢者入所施設での定期的な歯科健診実施率	32.3%	H23 県の調査	—	—	50%	